

編集後記

玄関の片隅に蟻螂がうずくまっている。指で小突いた。案に相違してす早い攻撃の反応も見せず、されるがままにじっとしている。夏の一場に見た小虫を襲うあの敏捷さはまったくない。ただぶざまに脹れあがった腹部のせいだけではあるまい。戸を明け、つまんで外に出してやった。人目に映るかれらの残酷さも母性のなせるしわざか。こんな思いがふと頭をかすめた。この小さな生命には一段と深まり行く秋にまだ大きな仕事が残っているのだ。気のせいか外気が一そう肌寒い。

今年も重苦しい景気停滞のうちに就職試験の時季を迎えた。何とか一人一人が頑張って新たな関門を通り抜け自らの手で新しい職場をつかんで欲しいと祈る次第である。

残暑のうちに発行を予定していた「論集」2号は遅れて菊の季節にずれこんでしまった。年次当初、予算と編集のあり方について基本的な検討が加えられ、新たな方針のもとに運営されることになった。途中、多少のつまづきがあったものの、ここに発行の運びとなり、ご無理を願った鈴木啓祐先生ならびに玉稿をお寄せ頂いた先生方、さらに懇切なご配慮を頂いた東京大学出版会関係者に厚くお礼を申しあげておきたい。 (小堀記)

流通経済大学論集 Vol. 12, No. 2 (通巻第43号)

ISSN 0385-0854

昭和52年11月30日 発行

非売品

編集兼発行所

流通経済大学学術研究会

茨城県竜ヶ崎市字平畑120番地

電話 竜ヶ崎 (02976-2) 3251 (代表)

製作所

財団法人 東京大学出版会

東京都文京区本郷7丁目3番地の1 東大構内

電話 東京 (03-811) 4281